

臨床遺伝学

責任者：臨床遺伝学科 鈴木 伸宏 教授

学習方針（実習概要等）：

遺伝学的検査が個別化医療に用いられるようになり、遺伝学はより一般的になった一方で、遺伝情報の解釈は難しい。さらにそれらの遺伝情報は、本人にとどまらず、親兄弟、配偶者、子供などの家系構成員の健康管理や人生設計へ影響を及ぼす可能性がある。臨床遺伝学の臨床実習では、これらの状況に対応可能な遺伝医療マインドを養うことを目標とする。

教育成果（アウトカム）：

医師として必要な臨床遺伝学・遺伝カウンセリング学の実践的知識を修得することで、遺伝診療における適切な医療面接ができる。

（ディプロマポリシー：1, 2, 4, 5）

到達目標（SBOs）：

1. 医療面接の場（環境および雰囲気）を設定できる。
2. 家族歴の聴取し、家系図を作成できる。
3. 遺伝性疾患に関する情報を収集し、説明できる。
4. 遺伝医療における倫理的配慮ができる。

特に留意すべき注意事項：

1. カンファレンスおよびオリエンテーションがあるので、実習初日の午前 8 時 25 分に臨床遺伝科医局へ集合すること。
2. 指定された教科書については、必ず実習に持参すること。
3. 妊婦との面談もあるため、体調不良（発熱、下痢等）の学生は必ず申し出ること。
4. 外来陪席の際には服装や立ち振る舞いに十分配慮すること。
5. ファクトシートに記載する情報には出典（文献、教科書、ホームページ等）を示すこと。

事前学修内容および事前学修時間：

シラバスに記載されている各実習内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行い、医療面接・診察など基本的臨床技能実習で修得した手技について再確認をすること。また、実習前に e ポートフォリオ（WebClass）「日々の振り返り 今日の目標」にて、事前学修内容を踏まえた自己到達目標を設定し実習へ臨むこと。各実習に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全実習に対して該当するものとする。なお、適宜 e ポートフォリオ（WebClass）を通し個人に対する実習のフィードバックを行う。実習では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

第4・5学年臨床実習スケジュール[臨床遺伝学]

指導教官名：①鈴木伸宏教授 ②小林有美子講師 ③山本佳世乃講師 ④小畑慶子助教 ⑤吉田明子助教 ⑥三浦史晴非常勤講師 ⑦金杉知宣非常勤講師

曜	1時限	2時限	3時限	4時限
月	カンファレンス見学 [場 所] [大学院生共同研究室] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦	オリエンテーション（ファクトシートテーマおよび外来陪席要領） [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦	講義「臨床遺伝学・遺伝カウンセリング学総論」 [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦	ファクトシート作成 [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦
火	ファクトシート発表（テーマ2～4のいずれか） [場 所] [臨床遺伝科外来] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦	講義「テーマ1～4のいずれか」 [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦	グループワーク・ロールプレイ「テーマ1～4のいずれか」 [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦	ファクトシート作成 [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦
水	ファクトシート発表（テーマ2～4のいずれか） [場 所] [臨床遺伝科外来] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦	講義「テーマ1～4のいずれか」 [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦	グループワーク・ロールプレイ「テーマ1～4のいずれか」 [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦	ファクトシート作成 [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦
木	ファクトシート発表（テーマ2～4のいずれか） [場 所] [臨床遺伝科外来] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦	講義「テーマ1～4のいずれか」 [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦	グループワーク・ロールプレイ「テーマ1～4のいずれか」 [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦	予備（ファクトシート修正、自習） [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦
金	予備（ファクトシート修正、自習） [場 所] [臨床遺伝科外来] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦	講義「テーマ1～4のいずれか」 [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦	グループワーク・ロールプレイ「テーマ1～4のいずれか」 [臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦	ファクトシート提出 実習総括 [医局または臨床遺伝科外来] ①②③④⑤⑥⑦

講義テーマ領域：1 周産期領域、2 家系図の書き方、3 小児領域、4 遺伝性難聴、5 遺伝性腫瘍、6 遺伝子関連情報検索

●外来陪席・講義を問わず必ず事前に予習 ●指示された場合はファクトシートを作成 ●講義よりも陪席を優先 ●陪席・講義がない場合は自習

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
視聴覚用機械	ノート型PC	1台	臨床実習資料作成および講義用
視聴覚用機械	外付モニター	1台	臨床実習講義用
視聴覚用機械	プロジェクター	1台	臨床実習講義用
視聴覚用機械	複合機	1台	臨床実習資料作成用

教科書・参考書等：

- ・（教科書）コアカリ準拠 臨床遺伝学テキストノート 診断と治療社

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 知識：15 点
2. 態度：30 点
3. 技能試験：20 点
4. ポートフォリオ：20 点
5. 指導医評価：15 点